

令和4年度

摂津市教育推進プラン

摂津市教育委員会

目 次

1 . はじめに	P 1
2 . 教育推進プランの位置付け	P 1
3 . 施策体系	P 2
4 . 具体的な取組	P 4
目標 1 . 豊かな心を育む教育	P 5
目標 2 . 確かな学力を育む教育	P 8
目標 3 . 健やかな体を育む教育	P 1 3
目標 4 . 社会を生き抜く力を育む教育	P 1 5
目標 5 . とともに学び育つ教育	P 1 8
目標 6 . 学びを続ける機会づくり	P 2 1
目標 7 . 学びを支える環境づくり	P 2 4
目標 8 . 学びを活かす人づくり	P 2 7
目標 9 . 安全安心で快適な教育環境づくり	P 2 9
目標 10 . 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P 3 3
参考 . 摂津市が配置等している支援人材一覧	P 3 6

1. はじめに

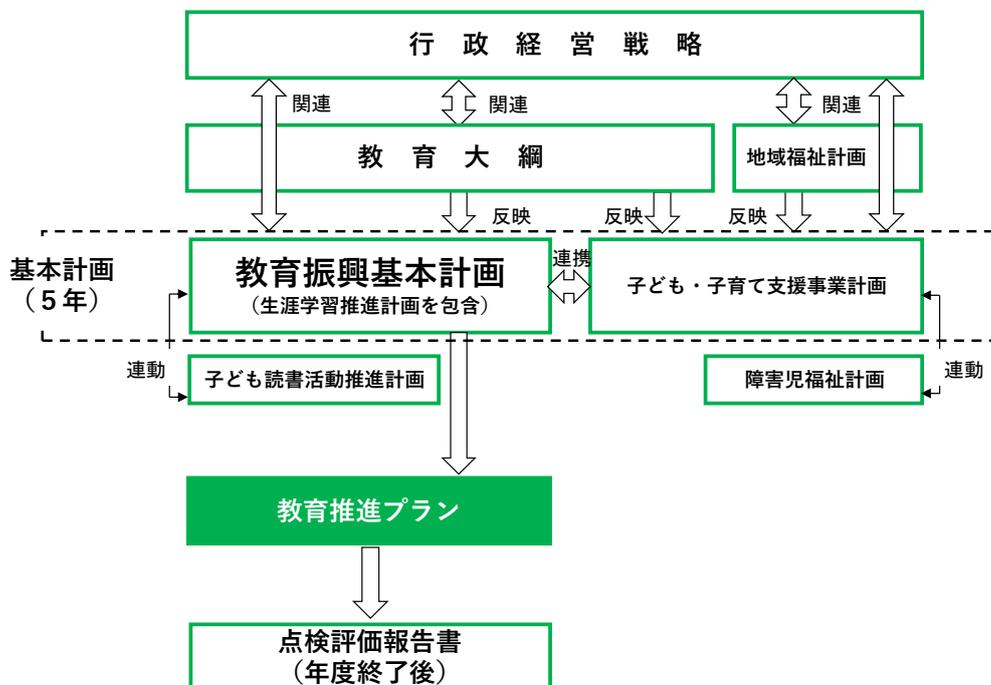
つながり 未来を拓く せつつの教育

摂津市教育大綱には教育理念として「つながり 未来を拓く せつつの教育」が掲げられています。そこには市民一人ひとりが自立した人間として、人や社会（まち）とつながりながら生きる喜びを感じ、豊かな感性と創造力を輝かせ、新しい未来を切り拓いてほしいという思いが込められています。

本市教育委員会では、この教育大綱の基本理念に基づき、中長期的な視点で教育の振興に取り組むため、摂津市教育振興基本計画を策定しました。教育推進プランは、摂津市教育振興基本計画の目標達成のためのアクションプランとして単年度に取り組む内容を計画しています。

2. 教育推進プランの位置付け

本計画は、摂津市行政経営戦略の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして位置付けられており、策定に当たっては、子どもに関する他施策との整合性を図り策定しています。また、計画の進捗管理については、P D C Aサイクルに基づいて行うとともに、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。



3. 施策体系

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	事業（取組）名	
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		道徳教育の充実 人権教育推進事業 国際理解教育推進事業 日本語指導教育事業	
			② 人権教育の推進		小中学校管理運営事業 学校読書活動推進事業	
			③ 読書活動の推進		学力向上推進事業	
		2 確かな学力を育む教育	④ 授業改善の推進	★	★	小中学校教育用コンピューター事業 学校マネジメント支援事業 研修事業 学校教育相談員配置事業
				⑤ 学習内容・学習習慣の定着		学校マネジメント支援事業（再掲） 学力向上推進事業（再掲）
				⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進		就学前教育推進事業 キャリア教育推進事業
		3 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着			運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進 小・中学校給食事業
				⑧ 学校体育・部活動の推進		全国・運動能力、運動習慣等調査 学校部活動等助成事業
		4 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	★	英語教育推進事業 小中学校教育用コンピューター事業（再掲） キャリア教育推進事業（再掲） 防災教育の推進
				⑩ 支援教育の推進	★	特別支援教育推進事業 就学児指導事業 教育相談事業
		5 ともに学びに育つ教育	⑪ 相談体制の充実			進路選択支援事業 ★ 生徒指導体制推進事業 教育相談事業（再掲） 適応指導教室事業
				⑫ 生徒指導の充実		公民館講座開催事業 家庭教育学級事業 生涯学習出前講座開催事業 生涯学習推進本部運営事業 文化財保護事業 摂津市史編さん事業 公民館まつり事業
					⑬ 多様な学習機会の充実	
		2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	6 学びを続ける機会づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		青少年リーダー養成事業 せつつ生涯学習大学事業
					7 学びを支える環境づくり	⑮ 社会教育施設の活用
	8 学びを活かす人づくり		⑯ 多様な主体による指導者の育成			★ 中学校給食事業（再掲） 小学校給食事業（再掲） 学校協議会の積極的運営 積極的な情報発信 地域学校連携活動支援事業 安全対策事業 スクールガード・リーダー配置事業 小中学校通学区区域等事業（再掲） 地域子ども安全安心事業
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ～教育環境の整備～	9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備			
				⑱ 感染症の予防・対策		
		⑲ 学校給食の安全衛生管理				
			10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑳ 学校・家庭・地域の連携強化		
		㉑ 子どもの安全見守り活動の充実				

★：重点事業（施策推進にあたり、令和4年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—（*）	72.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—（*）	70.0%	72.9%

R7 目標値は R1 全国学力・学習状況調査の全国値とします。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、—としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。

「R4 目標値」には、「R7 目標値」の達成に向けて令和4年度に到達すべき目標値を記載しています。

学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	24,446千円（6,235千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学力及び学習状況の調査結果から、各学校における児童生徒の学力課題を分析し、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、大学教授や指導主事を招聘した研究授業を行うなど、授業改善を中心とする学力向上に向けた取組を行う。 ・学習指導要領が示す目標に向け、研修支援や研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。 			
指標名	①意識調査*（「～に～している」と） ②学年毎の同一 び府中学生チャレンジテストの結果が前年度以上の学年数 ③全国学力・学習状況調査の平均無回答率の対全国比		ち69学年） （中）—（*）	うち74学年） （中）40% （全30学年のうち12学年）

事業（取組）ごとに令和4年度の取組内容等を記載しています。新規事業、拡充事業等重点的に取り組む事業には事業（取組）名の後ろに【重点事業】と標記しています。

事業（取組）の進捗状況をはかるための指標を設定し、令和2年度の実績値及び令和4年度の目標値を記載しています。

4. 具体的な取組

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—（*）	72.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—（*）	70.0%	72.9%

R7 目標値は R1 全国学力・学習状況調査の全国値とします。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、—としています。

施策・事業（取組）

① 道徳教育の推進

答えが一つでない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。

事業（取組）名	道徳教育の充実	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科道徳」の授業改善に向け、教材及び発問内容の検討、評価方法について教員対象の研修を実施する。 ・小中学校が作成する「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の全体計画や年間指導内容実績表等により、各校の道徳教育の実施状況及び進捗状況を把握する。 			
指標名	道徳教育に関する研修会開催回数	R2 実績値	R4 目標値	
		4 回	5 回	

②人権教育の推進

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、児童生徒の発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。

事業（取組）名	人権教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	99千円（60千円）	
取組内容	・教職員一人ひとりが人権教育に関する正しい知識の習得及び指導力向上のため、人権教育研修会を実施する。			
指標名	①研修実施回数 ②市教職員アンケート「人権教育の「課題」が教職員間で共有され、解決に向けて指導にあたっていると思いますか」の肯定的回答率	R2 実績値	R4 目標値	
		①3回 ②73%	①3回 ②78%	

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,880千円（1,880千円）	
取組内容	・児童生徒が他国・他地域の言語や文化について、活動を通じて学ぶため、学校へ国際理解教育社会人講師★を派遣する。			
指標名	国際理解社会人講師の派遣時間数	R2 実績値	R4 目標値	
		521時間	510時間以上	

事業（取組）名	日本語指導教育事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	7,385千円（7,385千円）	
取組内容	・海外からの帰国子女及び渡日児童生徒等に対し、一人ひとりの課題に応じた日本語指導及び母語指導等の支援を行うため、日本語指導講師★を派遣する。			
指標名	日本語指導講師派遣時間数	R2 実績値	R4 目標値	
		1131時間	2000時間以上	

★の説明は 36 頁に記載しています。

③読書活動の推進

読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	126,326 千円（8,000 千円）	
取組内容	・新たな図書の購入、古い本の廃棄や買い替え等で学校図書館整備の充実を図り、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を支援する。			
指標名	学校図書館図書標準※を達成している学校数	R2 実績値	R4 目標値	
		9 校/15 校	10 校/15 校	

※学校図書館図書標準：文部科学省が定める学校図書館が整備すべき蔵書冊数

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	19,270 千円（17,748 千円）	
取組内容	・小学校図書館で児童が本に親しみやすい工夫など本と出会う機会を増やし、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーター★を全小学校に配置する。			
指標名	「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合【◆】	R2 実績値	R4 目標値	
		—（*）	55%	

★の説明は 36 頁に記載しています。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、—としています。

基本目標
2

確かな学力を育む教育

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、学校教育とは次代の社会を担うための土台作りの場です。子どもたちが社会に出ても学んだことを生かせるように学習意欲を高め、自ら学び、主体的に行動し、よりよく問題を解決できるように、確かな学力を育みます。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	—(*)	(小6)0.97 (中3)0.95	(小6)1 (中3)1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—(*)	72.3%	73.5%

R7 目標値は R1 全国学力・学習状況調査の全国値とします。

(*) R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、実績値は—としています。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策・事業（取組）

④授業改善の推進

学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。

事業（取組）名	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	24,446千円（6,235千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学力及び学習状況の調査結果から、各学校における児童生徒の学力課題を分析し、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、大学教授や指導主事を招聘した研究授業を行うなど、授業改善を中心とする学力向上に向けた取組を行う。 ・学習指導要領が示す目標に向け、研修支援や研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。 			
指標名	①意識調査※1（3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合 ②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※2及び府中学生チャレンジテストの結果が前年度以上の学年数の学年数 ③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	R2 実績値	R4 目標値	
		① 44.6% ②(小)69% （全100学年のうち69学年） (中)－(*)	① 47.6% ②(小)74% （全100学年のうち74学年） (中)40% （全30学年のうち12学年）	③(小)－(*) (中)－(*)

※1 意識調査：市教育委員会が児童生徒の学習意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※2 摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各学校が児童生徒の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に活かすために実施する学力調査（対象：小学1年生から6年生まで）

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ	担当課	学校教育課	
	一事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	176,165千円（176,165千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの効果的かつ日常的な活用のため、特別教室や体育館等に無線LANを整備する。 ・ICT教育推進リーダー教員※を中心に、ICTの活用による授業力改善や学力向上に向けた取組を市内に普及させる。（特に【思考力・判断力・表現力等】の観点） 			
指標名	「学習の中でICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	R2 実績値	R4 目標値	
		－(*)	95%	

※ICT教育推進リーダー教員：ICT機器を使用した授業を先進的に取組、各学校の活用事例を他校に広めるために中心となる教員

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

(*)R2は全国・学力学習状況調査及び大阪府中学生チャレンジテスト未実施のため、実績値は－としています。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160,713 千円（7,200 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を進めるため、研究授業・研究協議の支援を行う。 ・研究重点校として指定した学校の取組を支援するとともに、他校への普及に向けて取組成果を発信する。 			
指標名	意識調査（3月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	R2 実績値	R4 目標値	
		49.3%	51.3%	

事業（取組）名	研修事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	991 千円（991 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上のため、各教科の授業づくりや児童生徒の発達を支える指導の充実に向け、課題別研修及び経験年数に応じたステージ別研修を実施する。 			
指標名	教職員研修参加者へのアンケート「研修の内容を学校の取組みに生かす」への肯定的回答の割合	R2 実績値	R4 目標値	
		95.7%	97.0%	

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	12,251 千円（12,251 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における様々な課題に柔軟に対応するため、学校経営サポーター★を配置し、校長及び教頭の学校運営を支援する。 ・学校教育相談員★を配置し、授業づくりを支援するなど初任者等経験の浅い教員の指導力向上を図る。 			
指標名	初任者研修における自己評価※の合計ポイントの上昇幅の平均	R2 実績値	R4 目標値	
		17.3 ポイント	20.0 ポイント	

※初任者研修における自己評価：120 ポイントを満点として初任者研修後に教職員が自己評価を行う。
（年間3回の自己評価のうち第1回と第3回の合計ポイントを比較する。）

★の説明は36頁に記載しています。

⑤学習内容・学習習慣の定着

授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160,713 千円（7,400 千円）	
取組内容	・授業中や放課後を含め学校における児童生徒の学習活動を支援するため、学習サポーター★を各校に派遣する。			
指標名	学習サポーター派遣校数	R2 実績値	R4 目標値	
		15 校／15 校	15 校／15 校	

事業（取組）名	学力向上推進事業（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	24,446 千円（17,026 千円）	
取組内容	・市内 6 会場で小学 6 年生から中学 3 年生を対象に「摂津 SUNSUN 塾※」を実施する。（年間 60 回、教科は国語、算数・数学）			
指標名	①受講生の学力の向上（5月現状値を1.0とする） ②平日及び休日に1時間以上学習する児童生徒の割合の増加（5月現状値を1.0とする）	R2 実績値	R4 目標値	
		①小 6 1.09 中 1 1.02 中 2 1.06 中 3 1.05 ②平日 2.65 休日 1.45	①全学年1.05 以上向上 ②平日・休日 ともに1.20 以上	

※摂津 SUNSUN 塾：摂津市が民間委託する無料塾。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。

義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。

事業（取組）名	就学前教育推進事業	担当課	こども教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	300千円（300千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立の就学前施設の保育士や保育教諭、幼稚園教諭と小学校教諭を対象とした合同研修を実施する。 ・幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領・保育所保育指針を踏まえ、就学前教育実践の手引きを改訂する。 			
指標名	①研修アンケートにおける『今後の職務に活かすことができる』と回答した割合 ②就学前教育実践の手引きの改訂	R2 実績値	R4 目標値	
		①—	①90%以上	
		②—	②冊子の完成	

事業（取組）名	キャリア教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,093千円（164千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、中学校区で合同研修などの校種間連携の機会を設け、学習指導・生徒指導等の充実を図る。 			
指標名	中学校区で実施した小中連携推進協議会の回数	R2 実績値	R4 目標値	
		69回	75回	

基本目標
3

健やかな体を育む教育

人生100年時代と言われる中、子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を過ごすため、運動やスポーツ活動、学校保健活動を通じた体力や運動能力の向上と、基本的な生活習慣の定着を図ります。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査※の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】(小5・中2平均・男女別)	—(*)	(男)0.97 (女)0.96	(男)1 (女)1
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合(小5・中2平均・男女別)	—(*)	(男)66.5% (女)48.2%	(男)69.5% (女)51.2%

R7 男子目標値は、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、R1 時点で全国実績と同値のため、さらに伸ばします。R7 女子目標値は、R1 の全国値とします。

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。

小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動調査等の質問紙調査を実施している。

(*)R2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査未実施のため、実績値は—としています。

施策・事業(取組)

⑦運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着

運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感じることが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。

事業(取組)名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額(取組内容に係る予算)	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、運動への興味関心を深め、体力づくりの土台となる食事・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。			
指標名	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合(小5・中2平均・男女別)	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	(男)66.5% (女)48.2%	

(*)R2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査未実施のため、実績値は—としています。

事業（取組）名	小中学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	460,205千円（—）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・えいようだよりや学校給食通信を発行し、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成する。 ・日常生活における食事の正しい理解を深めるため、「防災」「感染症予防」など市内小中学校で共通テーマを設定するとともに、共通食材を使用したメニューを提供する。 ・児童生徒が自ら育てた食材を食べる食生活を体験し、楽しみながら自然の恩恵や農業への理解を深め、地域の食材の大切さや魅力の再発見を促す。 			
指標	①えいようだより及び中学校給食通信の発行回数 ②小中学校共通テーマ及び食材を使用したメニューの提供回数	R2 実績値	R4 目標値	
		①24回 ②3回	①24回 ②3回	

⑧学校体育・部活動の推進

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。

事業（取組）名	全国・運動能力、運動習慣等調査	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、体力づくり推進計画（アクションプラン）を作成し、各校の体力向上の取組や体育授業の充実を図る。 			
指標名	体力合計点の府平均以上校数	R2 実績値	R4 目標値	
		—（*）	8校/15校	

事業（取組）名	学校部活動等助成事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,810千円（2,599千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が活動を通じて、運動や文化活動に親しみ、技術力や社会性を身に付ける部活動を支援するとともに、教職員が部活動に従事する際の負担を軽減するため部活動指導員★を派遣する。 			
指標名	学校の希望した部活動へ部活動指導員を派遣した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		80%	100%	

（*）R2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査未実施のため、実績値は—としています。

★の説明は36頁に記載しています。

社会を生き抜く力を育む教育

グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は日常生活を質的にも変化させつつあります。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育の在り方も新たな事態に直面しています。子どもたちに、現在と未来に向けて、粘り強く、自らの人生を拓き、社会を生き抜く力を育みます。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	—（*）	72.2%	74.7%

R7 目標値は R1 全国学力・学習状況調査の全国値とします。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*） R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、実績値は—としています。

施策・事業（取組）

⑨新たな教育の推進

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を發揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。

事業（取組）名	英語教育推進事業 【重点事業】	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,096 千円（29,096 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校への英語教育の円滑な接続のため、小中連携したカリキュラムづくりを推進する。 ・児童生徒の英語力向上及び教員の指導力向上のため、授業づくりの支援及び助言を行う外国語活動支援員★を派遣する。 ・授業時の英語を使ったコミュニケーション機会の充実のため、外国人英語指導助手（ALT）★を派遣する。 ・生徒の英語力及び学習意欲向上ため、中学 3 年生の希望者に実用英語技能検定受験料の全額を補助する。 			
指標名	①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合 ②英語力が CEFR A1*相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する 3 年生）	R2 実績値	R4 目標値	
		①88.8% ②47.7%	①90.0% ②50.0%	

※CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。CEFR A1 は実用英語検定 3 級と同程度のレベル。

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	176,165 千円（176,165 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市情報活用能力体系表*1 に基づき、体系的に児童生徒の「プログラミング的思考力」を育む。 ・小学校にプログラミングロボット*2 を導入し、発達段階に応じたプログラミング教育を実施する。 			
指標名	児童生徒アンケート「プログラミング教育の授業は楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合	R2 実績値	R4 目標値	
		100%	100%	

※1 摂津市情報活用能力体系表：①ICT スキル②プログラミング的思考③情報モラルの 3 つの観点について、発達段階別に目標を示した一覧表

※2 プログラミングロボット：PC 画面上で作成したプログラムを反映させ、実際にどのように動くのか、体験するためのロボット

*の説明は 36 頁に記載しています。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育推進事業（再掲）【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,093 千円（1,929 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市キャリア教育推進委員会を開催し、キャリア教育スタンダードの効果的な実施のための年度目標や具体的な取組について協議する。 ・児童生徒にキャリア教育に係るアンケート調査を実施するなど、PDCA サイクルをまわしながら、児童生徒の状況に応じたプログラムを実施する。 			
指標名	「将来の夢や目標を持っている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	R2 実績値	R4 目標値	
		—（*）	70%	

事業（取組）名	防災教育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の防災教育に関する計画及び進捗を確認し、市内各学校での防災教育の推進を支援する。 			
指標名	避難訓練の実施回数（市内小中学校における実施回数の平均）	R2 実績値	R4 目標値	
		2.4 回	2.7 回	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、実績値は—としています。

基本目標
5

とともに学び育つ教育

障害の有無に関わらず、集団の中で互いを尊重し、違いを認め合いながら、自尊感情を高め、大切にする態度を子ども一人ひとりに育むとともに、地域社会の一員として人や社会とつながり、支え合いながら、ともに学び育つ教育を推進します。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	—（*）	80.0%	83.9%
2	「友達と協力するのは楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	—（*）	92.0%	93.6%

R7 目標値は R1 全国学力・学習状況調査の全国値とします。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。成果指標 2 は、R3 から「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。」の質問項目削除に伴い、成果指標を変更しています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、—としています。

施策・事業（取組）

⑩支援教育の推進

障害の有無にかかわらず、全ての人々が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。

事業（取組）名	特別支援教育推進事業	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	16,953 千円（16,953 千円）
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の特別支援教育に関する専門性や指導技術を育成するため、各小中学校を巡回する特別支援教育推進専門員★を派遣する。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への支援のため、看護嘱託員を配置する。 ・学校コンサルテーション実施校※をモデル校として位置づけ、自閉症・発達障害に関する研修や個に応じた適切な指導を行い、教員の専門性向上を図る。 ・難聴の児童生徒が教室等で教員の声を聞き取りやすくするため、補聴援助システムを追加配備する。 ・学校が校外学習等で使用するバスをリフト付きバスに変更する場合に必要な費用を補助する。 		
指標名	モデル校以外でコンサルテーションを受ける学校数	R2 実績値	R4 目標値
		0 校	2 校

★の説明は 36 頁に記載しています。

※コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと、学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

⑪相談体制の充実

児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。

事業（取組）名	就学児指導事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	414 千円（414 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係者、福祉関係者、及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、児童生徒の就学先の選択や学校における支援の手立てについて適切な助言を行う。 			
指標名	支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催	R2 実績値	R4 目標値	
		対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	

事業（取組）名	教育相談事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,873 千円（29,873 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談を行うため、教育センターに毎日心理相談員を配置する。 ・相談に対する早期解決に向けて、医療や福祉等の関係機関と連携する。また、発達に関する相談があった場合は、必要に応じて児童生徒の発達検査を実施し、早期支援につなげる。 			
指標名	保護者からの発達検査依頼に対する実施率	R2 実績値	R4 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	進路選択支援事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	107 千円（107 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の事情や経済的理由等で進学や修学が困難な生徒及び保護者に対する相談・支援を行う進路選択相談員★を教育センターに配置する。 			
指標名	進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）	R2 実績値	R4 目標値	
		5 校/5 校	5 校/5 校	

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑫生徒指導の充実

いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	22,406千円（22,406千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の生徒指導事案の重篤化の防止に向け、事案に応じた専門家の派遣やスクールロイヤー（SL）※¹による法律相談を実施し、問題の早期解決につなげる。 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）※⁵名を市内の5つの中学校区に週4日配置し、関係機関と連携を図りながら、問題行動等の早期対応・解決につなげる。 ・セラピードッグを不登校児童生徒の家庭に派遣し、不登校課題の解決へつなげる。 			
指標名	①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数※ ² ③不登校児童生徒数	R2 実績値	R4 目標値	
		①223件 ②82件 ③141人	①R2比10%減 （201件） ②R2比10%増 （90件） ③R2比10%減 （127人）	

※¹ スクールロイヤー（SL）：学校で発生する様々な問題において、子どもの最善の利益を念頭に置き、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

※² いじめ認知件数の指標設定の考え方：いじめ認知は、些細な事案も見逃さず早期に発見し対応することが重要であるため、目標値の設定を増加させている。

事業（取組）名	教育相談事業（再掲）	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,873千円（29,873千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校に週1日（学校規模に応じ週2日）スクールカウンセラー（SC）※を配置する。 ・課題に対して早期にチーム対応を行うため、学校からの要望に応じて、心理相談員を教育センターから派遣する。 			
指標名	いじめ事案へのSCの関与率	R2 実績値	R4 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	適応指導教室事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	7,135千円（7,135千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒に対する自立支援のため、パル（適応指導教室）での指導や小中学校へのさわやかフレンド※派遣を実施する。 			
指標名	パル通室生の学校復帰の割合	R2 実績値	R4 目標値	
		50.0%	50.0%	

※の説明は36頁に記載しています。

基本目標
6

学びを続ける機会づくり

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されています。「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習ができるよう、市民にあらゆる学習の機会を提供します。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	—(*)	80%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑬多様な学習機会の充実

多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。

事業（取組）名	公民館講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,253千円（3,253千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に役立つ知識や身近な課題など、様々なニーズに合わせた講座を開催する。 ・自宅などから受講できるオンライン講座や、「いつでも、どこでも」気軽に受講できるオンデマンド配信を実施する。 			
指標名	公民館講座アンケートにて、「これからも受講を継続したい」と回答した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	80%	

(*)アンケート実績がないため、R3に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	家庭教育学級事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	566千円（566千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親をはじめとする大人が、家庭教育の重要性、家庭と社会とのつながり、家庭における人権問題について学習するため、家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級を開設する。 ・説明会の実施や市役所窓口にチラシを設置し、学級を開設する団体及び参加者募集の周知を図る。 			
指標名	家庭教育学級アンケートで「今後の暮らしに活かせる」と回答した受講者の割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	75%	

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・登録市民講師や市の職員が直接出向いて学習機会を提供する「まいどおおきに出前講座」を実施する。 			
指標名	行政編受講者アンケートで「非常に満足」と回答した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		71.4%	75%	

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30千円（30千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係者と行政職員を対象とし、生涯学習を推進していくための研修会を実施する。 			
指標名	研修会受講者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	75%	

事業（取組）名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,470千円（3,470千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内から出土及び寄贈を受けた文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進める。 ・市内公共施設で文化財等の展示会を実施し、郷土摂津に対する市民の学びを高める。 			
指標名	文化財関連資料収蔵数	R2 実績値	R4 目標値	
		5,231点	5,500点	

(*)アンケート実績がないため、R3に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	38,501 千円（38,501 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料 10 万点のなかから解説を終えたものに焦点をあて編さんした、『新修摂津市史 近世・近代編』第 2 巻を刊行する。 ・『新修摂津市史 現代・民俗編』第 3 巻の編さんを進める。 ・市民への一般公開に向けて、歴史資料の収集・整理・保存を進める。 			
指標名	①『新修摂津市史』（『近世・近代編』第 2 巻）の刊行 ②本市に関連した歴史資料保存数	R2 実績値	R4 目標値	
		① —	① 刊行済	
		②40,000 点	②42,000 点	

基本目標
7

学びを支える環境づくり

教育基本法第3条や社会教育法第3条に基づき、生涯を通じた学びを継続するため、学習成果を活かす機会の充実など、人と人とが互いに学び、高め合う環境づくりに取り組みます。またニーズの多様化に対応した学習の場が提供できるよう、社会教育施設の有効な活用を図ります。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	— (*)	80%	R3 実績値より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	— (*)	75%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。

事業（取組）名	公民館まつり事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	438千円（438千円）	
取組内容	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）が日頃の活動の成果を展示・発表し、地域住民と相互交流を行うことで、地域の活性化を図る。			
指標名	公民館まつり実行委員会アンケートで、「他クラブの活動を知ることにより、活動意欲が向上した。」と答えた割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	75%	

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,326千円（2,326千円）	
取組内容	・生涯学習フェスティバルを開催し、参加団体の日頃の活動成果を発表し、地域の活性化を図る。			
指標名	生涯学習フェスティバル実行委員会参加団体数	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	20団体	

(*)アンケート実績がないため、R3に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,360 千円（4,360 千円）	
取組内容	・参加団体の活動成果や交流の機会を創造するとともに、来場するこども達の健やかな成長と親子のふれあいを深める場を提供するこどもフェスティバルを開催する。			
指標名	こどもフェスティバル実行委員会参加団体数	R2 実績値	R4 目標値	
		38 団体	40 団体	

⑮社会教育施設の活用

公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。

事業（取組）名	公民館運営事業【重点事業】	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	40,481 千円（5,202 千円）	
取組内容	・利用者の利便性向上のため、各公民館に無線 LAN を整備する。			
指標名	公民館利用者アンケートにて「無線 LAN を利用して、学習効率が向上した」と回答した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		－（*）	70%	

事業（取組）名	図書館運営事業【重点事業】	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	143,219 千円（10,797 千円）	
取組内容	・利用者の利便性向上のため、電子図書館サービスを導入するとともに市民図書館及び鳥飼図書センターに無線 LAN を整備する。			
指標名	電子図書貸し出し冊数	R2 実績値	R4 目標値	
		－（*）	1,000 冊	

（*）アンケート実績がないため、R4 に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児を対象とした読み聞かせやブックファースト等のイベントを実施する。 ・小中高生向けのおすすめ書籍の紹介等を行い、家庭における読書及び図書館利用を推進する。 			
指標名	子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率	R2 実績値	R4 目標値	
		25.2%	30%	

基本目標
8

学びを活かす人づくり

「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習し、学習成果を活かす機会の充実を図り、生涯学習活動の活性化だけでなく地域での活躍につなげる、学びを市民一人ひとりが活かす人づくりを推進します。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	— (*)	75%	R3 実績値より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と答えた割合	— (*)	75%	R3 実績値より増加

(*)アンケート実績がないため、R3 に新規アンケートを行います。

施策・事業（取組）

⑩多様な主体による指導者の育成

講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。

事業（取組）名	青少年団体育成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,709 千円（2,709 千円）	
取組内容	・青少年の健全な成長を目指して、地域で主体的に活動する団体（淀川わいわいガヤガヤ祭・ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会）への活動を支援する。			
指標名	子ども会の年間活動回数	R2 実績値	R4 目標値	
		65 回	100 回	

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,908 千円（2,908 千円）	
取組内容	・小学生を対象に青少年リーダー育成を目的とするチャレンジャークラブ夏冬のキャンプの実施、及び冒険プログラム講習会を実施する。			
指標名	青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて学んだことを生活で活かしたい」と答えた割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	70%	

(*)アンケート実績がないため、R3 に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	441 千円（441 千円）	
取組内容	・生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する。			
指標名	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	R2 実績値	R4 目標値	
		—(*)	75%	

(*) アンケート実績がないため、R3 に新規アンケートを行います。

基本目標
9

安全安心で快適な教育環境づくり

子どもたちが1日の大半を過ごす学校や社会教育施設等において、安全安心で快適な教育・生活環境となるよう整備するとともに、災害時に地域住民の避難所として活用できるように、防災機能の強化を図ります。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	— (*)	72%	R3 実績値より増加

(*)アンケート実績がないため、R3に新規アンケートを行います。

施策・事業（取組）

⑰教育施設の整備

老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。

事業（取組）名	小中学校施設改修事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	260,677千円（260,677千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童数増加に対応するため、千里丘小学校の増改築に係る基本設計及び実施設計を行う。 熱中症対策と避難所における防災機能の強化のため、鳥飼北小学校・第三中学校体育館のエアコン設置工事を行うとともに、鳥飼小学校、味舌小学校及び第四中学校体育館へのエアコン設置に係る実施設計を行う。 			
指標名	体育館にエアコンの設置が完了した学校数	R2 実績値	R4 目標値	
		0校/15校	2校/15校	

事業（取組）名	小中学校施設運営事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	391,798千円（7,500千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境の向上及び環境負担の低減を図るため、鳥飼小学校、鳥飼西小学校、鳥飼北小学校、鳥飼東小学校及び第五中学校の照明灯をリースでLED化する。 			
指標名	校舎全体の照明のLED化が完了した学校数	R2 実績値	R4 目標値	
		0校/15校	8校/15校	

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業 【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	31,392 千円（7,369 千円）	
取組内容	・鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置について通学区域等審議会に諮問するとともに、アンケート調査等を実施する。			
指標名	アンケート調査結果の分析の完了	R2 実績値	R4 目標値	
		—	分析の完了	

事業（取組）名	図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,873 千円（1,873 千円） 703 千円（703 千円）	
取組内容	・安全安心に施設を利用してもらうため、定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。			
指標名	図書館利用者アンケートで「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	R2 実績値	R4 目標値	
		77.2%	80%	

⑩感染症の予防・対策

学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。

事業（取組）名	小中学校保健事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	39,381 千円（39,381 千円）	
取組内容	・児童生徒の心身の健康を守り、学校の安全安心を確保するため、季節に応じた感染症予防策を講じ、学校内での感染症の感染拡大防止を図る。			
指標名	学校の臨時休業数	R2 実績値	R4 目標値	
		7 回	5 回	

事業（取組）名	小中学校施設運営事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	391,798 千円（10,916 千円）	
取組内容	・業者によるトイレ清掃を、週 1 回各校で実施し、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防を図る。			
指標名	業者によるトイレ清掃実施校数	R2 実績値	R4 目標値	
		—	15 校/15 校	

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160,713 千円（18,050 千円）	
取組内容	・令和 3 年度に引き続き、各校 1 名ずつスクールサポーターを増員し、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防を図るため、学校内の消毒作業等を行う。			
指標名	スクールサポーター派遣人数（小中合計）	R2 実績値	R4 目標値	
		23 人	31 人	

⑱学校給食の安全衛生管理

小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。

事業（取組）名	中学校給食事業（再掲）	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	71,072千円（21,320千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者試食会の開催や人気献立 week など中学校給食の喫食率向上に向けた取組を進めるとともに、中学校期の食の大切さを啓発する。 ・令和8年度からの供給開始を目標として、全員喫食による給食の実現に向けた施設の用地選定等を実施する。 			
指標名	中学校給食喫食率	R2 実績値	R4 目標値	
		6.1%	10%	

事業（取組）名	小学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	389,133千円（389,133千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒等の防止のため、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理を徹底するよう指導する。 ・衛生管理マニュアル順守徹底を図るため、効果検証会議を適宜行う。 			
指標名	食中毒の発生件数	R2 実績値	R4 目標値	
		0件	0件	

子どもたちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して育ちます。学校は「地域とともにある学校づくり」を行い、地域は子どもや学校を見守り支え、相互に連携することで、学校・地域全体で教育力の向上を図ります。

成果指標

	指標名	R2 実績値	R4 目標値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合 ^{【◆】} （小中学校）	—（*）	88%	100%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）R2 全国・学力学習状況調査未実施のため、実績値は—としています。

施策・事業（取組）

⑩学校・家庭・地域の連携強化

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

事業（取組）名	学校協議会 [※] の積極的運営	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・学校協議会にて、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告し、学校運営に関する内容について協議する。			
指標名	学校協議会を複数回実施した校数	R2 実績値	R4 目標値	
		15 校/15 校	15 校/15 校	

※学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行う。

事業（取組）名	積極的な情報発信	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等（教育委員会所管施設）のイメージアップに係る広報活動を行う。 ・学校広報活動等支援員*が取材した内容を動画チャンネルや市ホームページへ情報発信する。 			
指標名	①新規動画年間アップロード数 ②市教職員アンケート「本市の教育活動に関する動画（YouTube チャンネル）による発信は保護者や地域の方が、学校や市の取組みを理解することにつながっていると思いますか」の肯定的回答	R2 実績値	R4 目標値	
		①— ②—(*)	①30 本以上 ②77%	

※学校広報活動等支援員：学校等（保育所、幼稚園、図書館など）の特色ある取組み、教育委員会の各事業の活動などを、摂津市の Web ページ、YouTube チャンネル、広報紙等で発信する。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	担当課	子育て支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,201 千円（4,201 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区の地域教育協議会（すこやかネット）で実施する子どもの見守り活動や行事等を通じて、学校と地域の連携を強化し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。 			
指標名	各中学校区の主行事の参加者数	R2 実績値	R4 目標値	
		0 人	2,500 人	

⑳子どもの安全見守り活動の充実

学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。

事業（取組）名	安全対策事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	17,845 千円（17,845 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・こども安全巡視員が青色防犯パトロールカーによる巡回を行い、街頭犯罪や子どもに対する声かけ事案の抑止を図る。 ・受付員が小学校等の校門で受付活動を行い、不審者侵入を防止する。 ・防犯力の向上を図るため、学校管理職のヒアリング等を通じて受付活動における課題を洗い出し、受付員活動マニュアルを改定する。 			
指標名	学校運営中の不審者侵入事案	R2 実績値	R4 目標値	
		0 件	0 件	

(*)アンケート実績がないため、R3 に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	スクールガード・リーダー配置事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	546 千円（546 千円）	
取組内容	・登下校時の不審者事案の抑制や危険個所の把握のため、スクールガード・リーダー※による巡回指導を行う。			
指標名	スクールガード・リーダー巡回数：200 回以上	R2 実績値	R4 目標値	
		187 回	200 回以上	

※スクールガードリーダー：子どもたちの安全・安心確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで、危険箇所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	31,392 千円（24,023 千円）	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交通専従員が 25 箇所で行う登下校中における児童生徒の見守り活動を行い、安全確保に努める。 ・通学路等安全プログラムに基づき、合同点検を実施し、安全対策を行った内容を写真等を用いて Web ページで公表する。 ・通学路の安全確保を集中的に行う予算（令和 3 年度新規）を活用して、電柱幕等の設置や交換を行い、また関係課と連携して安全対策（ハンプ、グリーン舗装の設置、既設路面表示の復旧）を行う。 			
指標名	通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率	R2 実績値	R4 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	662 千円（662 千円）	
取組内容	・パトロール実施者証保持者数を増やし、青色防犯パトロールの活動を活発化させ、子どもの安全対策に取り組む。			
指標名	パトロール実施者証保持者数	R2 実績値	R4 目標値	
		56 人	65 人	

摂津市が配置等している支援人材の一覧

名称	内容	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	P. 6
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	P. 6
学校読書活動推進サポーター	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	P. 7
学校経営サポーター	市内小中学校の抱える課題解決に向け、校長の学校経営をサポートし、管理職を含めたOJTによる人材育成を行う。	P. 10
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	P. 10
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	P. 11
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	P. 14
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	—
外国語活動支援員	学期に2回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	P. 16
外国人英語指導助手 (ALT)	英語を母語とする外国人を中学校区に1名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	P. 16
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	P. 18
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	P. 19
スクールソーシャル ワーカー (SSW)	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	P. 20
スクールカウンセラー (SC)	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	P. 20
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	P. 20
ICT支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型PCの活用事例等や授業提案を行う	—
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	—
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	—
家庭教育相談員	不登校や子育て等の悩みや不安を抱く保護者に対して、教員ではない立場で寄り添いながら相談に乗り、支援を行う。	—
教育支援嘱託員	適応指導教室(パル)に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	—